

令和7年度 成果発表会

部門

2025年度 成果発表会【部門】 目次

NO.	種類	発表部署	ページ	NO.	種類	発表部署	ページ
1	センター	がん診療センター (化学療法、相談、ゲノム含む)	2	14	医療技術 部	放射線診断技術科	28
2		遺伝相談室	4	15		放射線治療技術科	30
3		女性骨盤機能センター	6	16		臨床検査技術科	32
4		認知症疾患医療センター	8	17		リハビリテーション技術科	34
5		健診センター	10	18		臨床工学科	36
6		栄養管理センター	12	19		栄養管理室	38
7	院長直下	医療安全推進室	14	20		臨床支援技術科	40
8		感染対策室	16	21		地域医療 連携センター	48
9		教育研修センター	18	22	入退院管理室	50	
10		QMセンター	20	23	医療・福祉相談室	52	
11	看護部	看護部	22	24	事務部	病院総務課	54
12	薬剤部	薬剤室	24	25		医事課	56
13		臨床研究管理室	26	26		経営企画課	58



2025年度成果

がん診療センター



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
がん遺伝子パネル検査	約110件	100件	125件	○
がん遺伝子カウンセリング	3件	20件	47件	○
遺伝カウンセラー擁立準備	0	来年度の養成 コース 入学者1名確保	0件	×

遺伝子パネル検査のうち、**院内Expert panel検査は34件、27.2% !**

県内随一(拠点の静がんを除く)です、しかも電子承認方式なので非常に迅速

①放射線治療件数の維持、緩和放射線治療の積極的導入: 158 → 152件

②化学療法初回導入時、アナフィラキシー高リスクレジメの原則入院加療△



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	ロボット支援下手術等低侵襲治療の提供 新規抗癌剤(分子標的剤含む)	○
2. 生き活きと働ける職場環境	午前早期から化学療法開始できる体制構築 →時間外労働削減	×
3. 地域ニーズへの対応	一般市民への情報発信 アクセスしやすいHomepage校正 常勤遺伝カウンセラーの確保	△
4. 経営基盤の更なる強化	化学療法導入時の原則入院加療	△~○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

①質の高いがん治療医療の実現 ○

—1: ロボット支援下手術

・胃切除: 9件 今後は幽門側切除のみから噴門側、胃全摘へ適応拡大

・腎部分切除、尿管・膀胱切除も保険診療下実施

—2: 新規悪性腫瘍治療薬導入

・消化器内科、血液内科、泌尿器科等が積極導入

保険適応前から準備し、即レジメ登録している

②生き活きと働ける職場環境: 午前早期からの化学療法 ×
センター主導でシステム構築が必要

例: 前日採血で結果評価 → 朝一番で診察、副作用等なければ即実行

前日採血の仕組みは是非必要(通常の外來診察にも応用)



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

③地域ニーズへの対応：一般市民への情報発信 △

LINEなどで磐田市経由で発信 まだ改善の余地あり

④経営基盤の更なる強化：化学療法導入時の原則入院加療 △～○

年始には多くの診療科が入院での化学療法に賛同・実施してくれた

DPC入院で収益増が見込めるレジメの入院加療は多くの診療科で賛同が得られた

収益的 そして 医療安全的には、

・原則入院加療で初回治療を導入する

・その際、患者同意が得られれば、有料個室を使用する(入院期間短いので、患者さん負担は低い?)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

・新規がん治療の積極的導入：
多くの診療科や部署の協力が得られ、達成できました。

多くの職種で一丸となって行うことの重要性を再認識

・しかし、、、
今後必須となる常勤の遺伝カウンセラー確保(養成)は、
システム構築が必要(新規採用者が進学しやすい環境作り)

・経営基盤強化
まだまだ種々の部署への辻説法が足りないか？



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

・外来化学療法室アナフィラキシー当番医の設定

→ 後日CT/MRIなどの造影検査のアナフィラキシー対応にも拡大
これは非常にうまくハマりました

31件のアナフィラキシー対応が迅速に行えました。

このような新規取組を積極的に導入します。

そして、

内視鏡手術用支援器機加算 15,000点/件 が受けられる様、

・悪性腫瘍に対する(およびそれに準じた)ロボット支援下手術 ≥200件/年
達成にむけて、外科系診療科と協力して頑張ります。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

遺伝相談室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	遺伝子診断が必要な症例に関して、丁寧な診察と遺伝カウンセリングを行い、診断に結びつける	○
2. 生き生きと働ける職場環境	遺伝専門医としての診療を維持できるよう、小児科一般業務やその他の業務との調整を行う	△
3. 地域ニーズへの対応	非侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)への対応を行う	△
4. 経営基盤の更なる強化	遺伝専門医の維持による認定施設の維持	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
保険適応のある遺伝子検査 提出件数	0	必要数	0	△
保険適応外の遺伝子検査件数	0	必要数	0	△
診断率(%)	-	-	-	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

質の高い医療の実現のため、遺伝性疾患を疑わせる患者の保護者に対して、検査の必要性等、丁寧な説明を心がけている。

今年度あらたに遺伝子を提出する必要はなかった。

すでに診断のついている患者で、フォローアップが必要な方の診療を継続している。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取り組みに対する結果・成果

がんゲノム医療における、院内エキスパートパネルに参加している。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

来年度臨床遺伝専門医の更新が必要となる→院内症例で対応。

今後も必要時に遺伝カウンセリング・遺伝子検査を行うことができるよう知識のアップデートを継続する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

女性骨盤機能センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目*	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4-12月実績	達成度
外来紹介患者数(人/年)	-	50	40	△
新規入院患者数(人/年)	-	10	4	×
年間手術件数	-	10	4	×

* いずれも泌尿器科で調査可能であった症例数



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	女性泌尿器科診療の新規開設	○
2. 生き生きと働ける職場環境	女性泌尿器科の魅力を発信、排泄ケアなどの院内教育	○
3. 地域ニーズへの対応	地域住民への情報発信、周辺医療機関との連携強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	新規対象患者の獲得	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

①女性泌尿器科に関する啓蒙と教育

- ・地域医療住民への啓蒙活動(市民公開講座、健康教室)
- ・近隣医療施設への宣伝(医師会、薬剤師会講演会)
- ・院内医療従事者に対する教育(排泄ケアマニュアル作成中)

②女性泌尿器科関連手術の新規導入

- ・膀胱水圧拡張術(2025年4月 施設基準取得) … 2件
- ・尿失禁防止手術(TVT) … 2件



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

①女性泌尿器科関連手術の導入

- ・尿失禁防止手術(TVT)
- ・膀胱水圧拡張術
- ・ボツリヌストキシン膀胱壁内注入 → 次年度から開始見込み

②排泄自立支援加算・外来排尿自立指導料の確保

- ・「排尿ケアチーム」の立ち上げ
- ・2026年4月からの保険請求に向け準備中
- ・排泄ケアマニュアル作成中、院内研修の実施予定



来年度に向けた決意表明

女性泌尿器科領域の拡充を目指し、
地域医療に必要とされる診療を実践
していく。

排尿ケアチームを通して、入院から外来
まで「排尿自立」をサポートする。



2025年度成果

認知症疾患医療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
認知症鑑別件数	65	70	74	○
専門医療相談件数	376	380	533	○
認知症専門診断管理料1	25	28	38	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	・開業医との連携を図り、鑑別診断後の治療の継続を図る。 ・認知症の進行予防薬の導入を図り、治療選択の幅を広げる。	○
3. 地域ニーズへの対応	・紹介患者数が増加しても鑑別診断希望者の受診までの待機期間の現状維持を目指す。 ・地域の医療機関や支援機関からの相談対応を行う。 ・地域からの講師依頼等に柔軟に対応し認知症に関わる情報や知識の提供を行い、地域の認知症体制作りに貢献をする。	△
4. 経営基盤の更なる強化	・逆紹介患者に対する認知症専門診断管理料1(700点)の確実な算定を目指す。	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ・医師会を対象とした勉強会で認知症治療薬に関する講演を行い、協力を求めた。鑑別診断後は患者家族と相談し治療の導入を行い、逆紹介を行っている。
- ・抗Aβ治療薬は、昨年今年と2剤を導入。11人導入、9名治療継続(2名病状を理由に中止)
- ・初診日までの待機日数は、昨年が11日 今年が18日(紹介患者数の増加)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ・認知症看護認定看護師が相談業務に関与出来る時間が増えたことからより専門性の高い相談対応も可能となり相談件数が増加している。
- ・地域からの講師依頼は柔軟に対応している。
(R6年度…6件、R7年度…7件)
- ・認知症専門診断管理料 1 の算定
(R6年度…25件、R7年度…38件 増加傾向)



来年度に向けた決意表明

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持ち、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援を目指します。

地域の医療機関から紹介された認知症鑑別診断に取り組み、院内・院外問わず認知症施策の関係機関と引き続き情報交換及び連携を図り、認知症の発症予防や悪化予防に努め、地域生活の維持に必要な医療や情報を提供していきます。

かかりつけ医や認知症サポート医との連携を図り、よりよい体制作りを目指します。



2025年度成果

健診センター



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
ドック請求額	1億6983万円	1億7000万円	1億3476万円 (達成度79%)	×
企業健診請求額	1億3921万円	1億4000万円	1億2113万円 (達成度86%)	○
特定保健指導請求額	294万円	350万円	476万円 (達成度136%)	○

ドック稼働率は、今年度4月-1月実績で82.1%、前年同期の79.8%を上回っているが、ドック可能枠の縮小をカバーしきれず、ドック請求額の目標達成まではおよびなかった



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	健診施設機能評価の受審	○
2. 生き生きと働ける職場環境	時間外勤務の平準化と36協定の遵守	○
3. 地域ニーズへの対応	生活習慣の改善をサポートするスマホアプリの導入	○
4. 経営基盤の更なる強化	健診実施可能枠の確保と稼働率向上、料金改定	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ① 健診施設機能評価の受審
質の高い医療の実現への新たな取り組み → 詳細は後述
第3者評価により優れている点や問題点を明らかにして改善活動を推進する
- ② 時間外勤務の平準化と36協定の遵守
職場環境の整備やバランスアップチャレンジキャンペーンを意識した取り組みにより、昨年時間外が多かった職員の負担軽減につながった
- ③ 生活習慣の改善をサポートするスマホアプリ導入
将来的な受診者定着化や報告書発行のペーパーレス化を見据えたスマホアプリ導入について、管理者会議での最終承認を受け、4月からの稼働に向け準備中



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

④ 健診実施可能枠の確保と稼働率向上、料金改定

- 1) 健診医師の長期休診が発生したが、腎臓内科、糖尿病内分泌内科の先生方や副病院長、理事など病院幹部医師による支援により、予定の実施枠を確保することができた。
- 2) 需要が多い胃カメラについては、内視鏡センター稼働に向けて、増枠する方向で調整済み
- 3) 料金改定について、健診事業検討・運営委員会、管理者会議にて改定案の承認を受け、令和8年4月1日より実施するよう市民への広報、契約機関への案内など、準備を進めている



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

健診施設機能評価の受審について

令和8年度からの協会けんぽ保険事業への対応、人間ドック受入の為に、申請から2年以内に協会けんぽが指定する団体からの認定が必要

【進捗状況】

7月～8月 健診事業検討・運営委員会、管理者会議にて日本人間ドック・予防医療学会の健診施設機能評価の受審することについて承認される

9月 協会けんぽ人間ドック健診実施施設に向けて認定取得の申請

10月 協会けんぽ静岡支部に人間ドック健診新規受託申請書を提出

来年度4月から始まる協会けんぽ人間ドック健診実施機関への手上げを行い、来年度に日本人間ドック・予防医療学会の健診施設機能評価を受審する方向で計画通り進行中



来年度に向けた決意表明

- サービスの質の向上に努めます



- 精度の高い健康診断を目指します

- 継続かつ安定的な受診者の確保に努めます



2025年度成果

栄養管理センター



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	患者の栄養状態および機能改善、QOL向上を目指し適切な栄養療法、リハビリテーションを提供していく	○
2. 生き生きと働ける職場環境	風通しの良い、円滑なチーム運営	○
3. 地域ニーズへの対応	近隣病院へNST臨床実地修練の場を提供	○
4. 経営基盤の更なる強化	各種栄養関連加算(特食加算、栄養サポートチーム加算等)の増加	○



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
栄養サポートチームラウンド件数(件)	676	680	643	○
摂食嚥下チームラウンド件数(件)	105	120	126	○
NST臨床実地修練者数(人)	11 (外部4人含む)	10~12 (外部4人程度)	12 (外部4人程度)	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ・NST、摂食嚥下ラウンド数の増加
- ・NSTメンバーの増員に伴い、質の向上
- ・2025年に第5回NST臨床実地修練の開催(院内から8名、院外から4名の参加)
- ・特別加算食の増加



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

経腸栄養剤の見直し



過剰な在庫を出さないように規格の統一を試みた
(一製品一用量等)



来年度に向けた決意表明

当院の入院・外来の栄養管理を
NST摂食嚥下チーム・栄養管理室
とともに継続して行っていきます。



2025年度成果

医療安全推進室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	事例に対して改善策をたて医療の質向上に寄与する 医師の医療安全活動を促進	○
2. 生き活きと働ける職場環境	心理的安全性の向上	△
3. 地域ニーズへの対応	地域連携医療安全相互チェックの継続: 近隣病院との安全度のベンチマーク策定継続	○
4. 経営基盤の更なる強化	加算が得られる医療安全対策の強化:リスクレベル「中」以上の患者の血栓塞栓症予防対策の実施の向上(特に内科系)	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
医師からのヒヤリハット、 オカレンスレポート数	200件 (研修医10件/ 人)	200件 (研修医2件/ 人)	94件(研修医 9件)	×
医師/看護師 率	10%	7%	4.3%	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

●医師の医療安全活動を促進

- ・医師に関連する他部門からの報告を医師からもあげてもらう→実施
- ・QMセンターとも協力し医局会でも情報共有に努める→不十分

●医療の質向上

- ・医療保険委員会と協力し血栓塞栓症予防対策を増加させる→発信不十分
- ・QMセンターとも協力しQI情報の共有・可視化を推進する→不十分

●心理的安全性の向上

- ・医療安全教育研修(7/23・29+バリテス、10/31・11/1+バリテス)→99.6%、97.7%
- ・医療安全面談で出た課題に対応していく →個々の事案に対応



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

●医療安全/QMセンターとして医局会での周知

- ・医療安全管理委員会報告の分析事例、
警鐘事例とその対策案を共有する。

→医療安全ニュースで周知も医局会で発信は少なかった。

- ・採血/点滴穿刺時の神経損傷疑いフロー/状況報告書改定
- ・無断離院時のフロー改訂
- ・ノルアドレナリンのセット処方化
- ・トイレの非常ブザーの把握・設置
- ・ハラスメント防止ポスター作成・掲示 など



来年度に向けた決意表明

- 信頼される医療安全推進室を目指します。
- 見える化をした活動を重視します。
- 心理的安全性の確保に努めます。
- MACT活動開始への参画をします。



2025年度成果

感染対策室

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
血液体液曝露件数	31件	29件以下	30件	×
黄色ブドウ球菌の メチシリン耐性率	25%	23%以下	27%	×
全職員対象研修受講率	98.4%	95%以上	97.1%	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 職業感染曝露 対応	・発生事例をもとにした対策の実施 ・各部門との発生件数減少に向けた取り組みの実施	○
2. 薬剤耐性菌対応	・ラウンドによる感染対策実施状況の確認とフィードバック ・手指消毒剤使用状況の確認とフィードバック ・発生時の介入	○
3. 感染防止対策 向上加算取得	・中東遠感染対策ネットワークの活用 ・加算2、3施設への対策援助	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取り組み・成果

職業感染曝露対応

【発生部門と対策を検討】

手術室 : 手術会議で月ごとの発生事例報告と対策を検討

R6:10件→R7:6件

看護部 : 看護部感染予防委員会内で発生事例報告と対策を検討

R6:11件→R7:7件

教育研修室: 発生事例報告と手術室と共同し対策を検討

4月研修医研修内容に曝露予防対策を組み込む

R6:3件→R7:4件

発生部門 : EPINET報告書内に署所属長のコメント記載を追加

【教育】

全職員対象研修会、看護部ヘルパー委員会勉強会の開催

翼状針作動方法の説明会と実演実施



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

薬剤耐性菌対応

- 手指衛生実施状況(使用量含む)の確認
- ガイドラインに準じた経路別予防策の実施
- 抗菌薬適正使用の推進
- 次年度も引き続き対応を継続する。

感染防止対策向上加算取得

- 感染防止対策向上加算1.2.3との年4回のカンファレンス開催実施
- 加算2.3施設への訪問指導
- 中東遠圏内クリニックとのカンファレンス開催
- 取得条件は満たした。次年度は診療報酬改定に対応もしていく。



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

新興感染症を想定した訓練実施への取組み

【新型インフルエンザ等特別措置法に基づく患者対応訓練】実施

※昨年度より県主催で毎年県内1つの医療機関で実施されている訓練。今年度は11月10日当院で、静岡県(西部保健所、環境衛生科学研究所、医療局感染症対策課)、磐田市消防本部と連携し実施された。

- 2026年以降に実施の予定を検討していた訓練を、今年度静岡県・消防署の協力のもとに実施できた。
- 流行初期時の連携確認ができた。
- 院内での連絡体制は再検討が必要。



来年度に向けた決意表明

院内感染を防ぐために
院内の各部署、他施設、保健所と
連携協力し最善を尽くします



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
臨床研修指導医の育成拡大	50名	52名	50名	△
マッチング応募者数拡大	34名	40名	44名	○

2025年度成果

教育研修センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	臨床研修指導医の育成拡大 50名→52名	△
4. 経営基盤の更なる強化	初期臨床研修医マッチング応募者数40件	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

施 策: 研修医指導者の安定的確保
 方 法: 開催状況の随時把握
 受講対象者の把握及びアナウンス
 成 果: 指導医講習会受講済者 50名 → 50名 ±0名

施 策: 若手医師(研修医)の安定的確保
 方 法: 合同説明会参加 6月、7月、3月
 病院説明会開催 5月、12月
 WEB説明会開催 6月
 その他
 成 果: マッチング応募者数 34名 → 44名 約30%UP



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

「臨床研修紹介パンフレットの一部をQRコードでデータダウンロード」

効果：ペーパーレス化、配付作業の削減

成果：一部 → 全部に変更



来年度に向けた決意表明

さらなる質の高い医療の実現に向け
達成できなかった臨床研修指導医の育成拡大
を推進

50名 → 53名



2025年度成果

QMセンター

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
TQMの認知度 (概算(推定)割合%)	30~50	50~80	30~50	×

- * 本年度もTQM発表会～5S・業務改善コンテスト～として実施
- * 医療安全、モニター管理などはTQM併記しての周知
- * 本年度はTQMとしての講演会は未実施、他の周知活動未実施



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	QI (Quality Indicator) 情報を共有し、病院全体の医療の質の向上に貢献する。	△
2. 生き活きと働ける職場環境	職員の資格取得状況を把握し、「人財」育成促進に寄与する。	×
3. 地域ニーズへの対応	患者サービス向上・改善に関して病院全体の改善活動を組織横断的に把握し協力していく。	△
4. 経営基盤の更なる強化	選ばれる病院になるべく、医療の質・安全文化の風土作りの一翼を担えるような部門を目指します。	△

* 医療安全、5S、業務改善、診療録管理委員会などとも連携して

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

●QMセンターとしての院内改善活動の把握・提言

- ・医療安全推進室との連携
- ・業務改善委員会・5S委員会との連携

→把握・連携はしておりバナー・講演会案内での併記・周知はしていたが、QMセンターとしての発信は弱かった。

●当院としてのQMセンターのあり方を模索継続

- ・TQM推進委員会での検討継続 …各部門の取り組みの共有のみ
- ・横展開できる改善案のサポート …不十分

→委員会開催減。QI情報共有から特定薬剤治療管理料1の算定もれ判明。

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

●QMセンター/医療安全として医局会での周知

・医療安全管理委員会報告の分析事例、警鐘事例とその対策案を共有する。

→医療安全ニュースでは周知も医局会で発信は少なかった。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

「TQM: Total Quality Management」

(全員・全体で、医療・サービスの質を、継続的に改善・向上させていく)

という言葉や概念が職員に認知され、風土となるように
現場・委員会・医療安全活動などで発信していきます。

* 組織のあり方も再考します。

* MACT活動開始への協力をしていきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

看護部



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全で質の高い看護の提供 ・地域住民のニーズに応じた看護の提供 ・チーム医療の推進 ・専門性の高い看護師の育成と活躍	△
2. 生き活きと働ける職場環境	働きがいのある、働き続けられる職場づくり ・看護の提供体制の改善 ・業務改善による負担軽減 ・医療DX推進	○
3. 住民の安心した暮らしを支える活動	人材育成と活用 ・将来を担う人材の育成	△
4. 経営基盤の更なる強化	病院経営への参画 ・適正な病床運営 ・短期滞在手術件数増加に向けてのシステム作り	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
適正な病床管理 病床稼働率	75.6%	80%	80.3%	○
退院後訪問指導料算定件数	19件	25件	6件	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 安全で質の高い看護の提供
 - ・地域住民のニーズに応じた看護の提供
退院後訪問指導料算定数6件(認定看護師のみ)
病棟看護師による訪問が実施できなかった ×
 - ・チーム医療の推進
新しいチーム発足に協力 ○
 - ・専門性の高い看護師の育成と活躍
特定看護師研修は10月から開講し、5名受講中
新しい区分(PICC)も開講
しかし、認定看護師の育成が不十分 △



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 2. 働きがいのある、働き続けられる職場づくり
 - ・看護提供体制の改善
各部署業務の見直しを行い、日常業務改善を実施
提供体制の改善までには至らず、検討のみ ×
 - ・業務改善による負担の軽減
入院支援業務の拡大により、病棟業務の
負担軽減に繋がった ○
 - ・医療DXの推進
各部署で入院時オリエンテーションや
検査の説明をタブレットに移行 ○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 3. 人材育成と活用
 - ・将来を担う人材の育成 △
地域特性を考慮し、専門性の高い看護師の
育成を目指したが十分ではなかった
- 4. 病院経営への参画
 - ・適正な病床運営 ○
稼働率80.3% (目標値達成)
 - ・短期滞在手術件数増加にむけての
システム作り △



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ・看護外来の開設に向けて取り組む ×
受診者の療養相談として院内チームでの活動はしているが
看護外来としての開設には至らなかった
- ・新たな医療チームの発足に伴い ○
チーム内での看護師の専門性を発揮する
「女性骨盤機能センター」「排尿ケアチーム」の発足に
伴い、研修参加を促し、専門性を発揮できる準備を行った



来年度に向けた決意表明

- ・人的資源を最大限活用する新たな看護提供
体制の構築に取り組みます
- ・地域住民が住み慣れた場所で安心して暮らすことが
できるように地域連携(看看連携)を強化します
- ・看護職員のライフステージに合わせて、働き続けられる
職場作り(人的計画も含め)に取り組みます



2025年度成果

薬剤部 薬剤室



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
薬剤管理指導実施率(%)	89.8	90	90.5	○
退院時指導実施率(%)	62.8	65	63.5	×
総合評価調整加算(件数/年)	190	300	304	○
退院時薬剤連携加算(件数/年)	67	75	94	○
連携充実加算(件数/年)	110	120	110	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	服薬指導における質と安全性の向上	○
2. 経営基盤の更なる強化	がん薬物療法体制加算の継続取得	○
3. 地域ニーズへの対応	薬薬連携の強化	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

＜服薬指導における質と安全性の向上＞

- 人員配置を工夫し、服薬指導機会を増やす(複数回実施)
算定機会率 月平均70%以上→72.5% ○
- 特に安全管理が必要な医薬品が投与されている患者さんへの指導を確実に実施する
ハイリスク薬指導率 月平均60%以上→63.1% ○

＜がん薬物療法体制充実加算の取得＞

- 薬剤師外来を継続して実施する
がん薬物療法体制充実加算 年20件
→1月までで16件 達成見込み ○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

<薬薬連携の強化>

- 退院サマリー記載方法などを検討し、
退院時連携加算件数を増やす67件→1月までで94件 ○
- 薬薬連携勉強会を実施する 6月と11月の年2回実施 ○
- 近隣薬局との連絡会を開催する
6月から開始し2ヶ月ごと5回実施 ○
- 電子処方箋1月より運用開始 ○



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- 薬剤師臨床研修ガイドラインに沿った
教育研修プログラムの運用開始

薬剤師臨床研修管理委員会が2/25に開催

プログラムに沿った評価も実施していく ○



来年度に向けた決意表明

病棟薬剤業務・服薬指導において
他職種と緊密なコミュニケーションをとり、
より多くの患者さんの治療効果と安全に
寄与し、地域連携の強化で切れ目のない
体制を実現していきたい



2025年度成果

薬剤部 臨床研究管理室



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い医療や新しい医療の実現にむけた治験・臨床研究への積極的な参加	○
2. 生き活きと働ける職場環境	希望に添った有給休暇の取得とワークライフバランスの強化	○
3. 地域ニーズへの対応	遠隔治験等への参加による治療選択肢の増加	○
4. 経営基盤の更なる強化	治験・臨床研究による安定的な収益	○



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
新規治験契約件数	3件	3件	2件	×
新規特定臨床研究契約件数	3件	3件	3件	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

1. 質の高い医療の実現

3つの治験ネットワークから依頼される選定調査のうち候補患者が見込まれるすべての選定調査へ回答
2件の受託につながった

2. 生き活きと働ける職場環境

スタッフ共通のPC上カレンダーを使用し休暇希望と業務調整を一元的に実施することで無理なく調整しワークライフバランスの向上ができた



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 地域ニーズへの対応

新たな形で実施される治験へ参画し
被験者への質の高いサポートを実施した

4. 経営基盤の更なる強化

治験の契約数は減少(計画自体が中止)したが
昨年度と同程度(微増)の収益を確保できている



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

当院未経験治験への挑戦

- ・医師主導治験
- ・抗がん剤治験
- ・パートナー施設治験
- ・遠隔治験
- ・Single IRBの使用

**受託および院内体制整備に取り組み
治療選択肢を増やすことが可能に!**



来年度に向けた決意表明

今年度は受託中の治験サポートを継続しつつ、様々な新しい形の治験に対応できる体制作りを確立しました。

来年度はこの体制を活かし、今まで以上に増えた治験受託可能種(患者さんにとっては治療選択肢)で、治験受託数増加と当院の集患に寄与できるよう努めます。



2025年度成果

放射線診断技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
外来検査数(件)CT MRI	2124件/月 608件/月	2150件/月 615件/月	2214件/月 623件/月	○
頭部MRI検査数(3T外来) 心臓CT検査数 乳房トモシンセシス	181件/月 48件/月 143件/月	190件/月 50件/月 150件/月	187件/月 58件/月 150件/月	○
タスクシフト/シェア: RI・CT・MRI穿刺・投与数	-	100件/月	149件/月	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	専門的なスタッフの育成	30% ○
2. 地域ニーズへの対応	被ばく低減への取り組み	20% △
3. 経営基盤の更なる強化	画像管理加算3に関連する施設基準の管理 CT、MRI外来検査、各種加算検査数増加への取り組み	30% ○
4. 生き活きと働ける職場環境	静脈路確保・造影剤投与への取り組み NEW	20% ○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

1. 質の高い医療の実現

専門的なスタッフの育成

- 1-1. 生涯教育システムの活用と管理(日本放射線技師会)
経験年数にあわせたクリニカルラダーレベルの取得
- 1-2. 世代を考慮した計画的な認定資格取得
核医学専門技師1名所得、放射線機器管理士2名等
- 1-3. 臨床研究による診断技術の発展・技術向上
日本放射線技師学術大会4演題、自治体病院学会:1演題等

2. 地域ニーズへの対応

被ばく低減への取り組み

- 2-1. 医療被ばく低減施設認定取得に向けた取り組み
臓器線量の推定、機器管理システムの体制整備
- 2-2. 医療被ばくの最適化
DRLs2025に基づいた最適化、AI再構成の活用



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 経営基盤の更なる強化

3-1. 画像管理加算3の継続と施設基準の管理

- ・MRI安全管理、被ばく管理、画像人工知能安全精度管理
- ・夜間、休日の画像診断体制、検査前画像診断管理

3-2. 外来検査数増加(特にCT検査、MRI検査)

- ・AI再構成、AIカメラの活用による検査時間短縮→実行
- ・電子カルテ更新により予約枠の増加

3-3. 3TMRI頭部検査・心臓CT検査・乳房トモシンセシス検査 全項目件数の増加



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

4. タスクシフト/シェア

静脈路確保・投与の取組み(RI、CT、MRI)



医師・看護師の業務負担軽減

医療安全・看護部・教育研修室と相談

院内研修過程を作成と実行

目標院内研修修了者:12名→10名

RI検査 骨シンチ以外の検査に対象拡大!

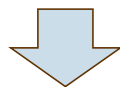
CT・MRI検査 配置の最適化による静脈路確保・投与
、月平均:149件の実施



来年度に向けた決意表明

医療DXを活用し進化します

- 専門性の充実による高い診断画像を提供
- 被ばく低減による安心安全な医療
- 診療報酬改定への対応



病院貢献と患者満足度向上



2025年度成果

放射線治療技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全かつ精度の高い放射線治療の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	定期的な情報共有の場を設け、技術や経験を相互に高め合う文化を育む	○
3. 地域ニーズへの対応	通院負担の軽減や柔軟性のある治療スケジュールの提供	○
4. 経営基盤の更なる強化	加算要件の確認とIMRT・SRT/SBRT等の適応支援を通じて、診療報酬の安定確保と医師判断のサポート	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度目標値	2025年度4月-1月実績	達成度
新規治療患者数(実人数)	329人	340人	257人	×
強度変調放射線治療(実人数)	162人	160人以上	110人	×
定位放射線治療(実人数)	43人	50人以上	37人	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ◆ 安全で精度の高い治療 ○
 - ・ガイドラインに基づく定期的QA/QCの実施
 - ・医学物理士管理のもと、技師が協力して運用
 - ・治療装置の線量出力・機械精度管理(日・週・月・年)
 - ・全治療計画でセカンドチェック+患者固有QAを実施
- ◆ 地域ニーズへの対応 ○
 - ・通院負担の軽減への配慮
 - ・患者担当制による個別相談・治療時間の柔軟対応



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

■ 生き生きとした職場づくり ○

- 学会参加・資格取得を積極的に支援

□ 診療放射線技師

放射線治療専門技師に新規合格、主要学会で学術発表

□ 医学物理士

国際学会発表および海外医学雑誌への論文掲載

■ 経営基盤の強化 ○

- 医師・事務職員と連携し、診療報酬加算要件を確認
- 治療適応検討段階から医師と連携
- IMRT・SRT／SBRT等の適応拡大を支援



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

◆ 治療継続体制の強化 △

- 停止リスクを想定し、1台運用での継続体制を検討
- 主要疾患で代替プランを作成・線量比較(計画検証)
- 電子線相当症例は代替困難(方針未確定)

□ 今後の課題

- 症例別「可能／要検討／不可」の整理
- 電子線代替(X線)の可否評価



来年度に向けた決意表明

- ◆ 正確な治療計画の実施と心のこもった患者サポートに努めます
- ◆ 厳格な品質管理により最適な線量計算と機器管理を保証します
- ◆ PDCAサイクルを活用し、継続的な改善と自己研鑽を実践します
- ◆ 医療チーム全体で連携を強化し、信頼性の高い治療提供に全力を尽くします



2025年度成果

臨床検査技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
外部精度管理調査(総合評点) (日本臨床検査技師会/静岡県臨床衛生検査技師会/日本医師会)	98.5点	95点以上	98.9点	○
認定資格取得・指定研修修了 (のべ人数)	18名	10名以上	6名	△
地域医療従事者研修受け入れ (のべ人数)	11名	15名	13名	△
受託検査件数(開業医)	178件	200件以上	185件	○
採血待ち時間20分以内の比率	93.5%	90%以上	93.6%	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い検査の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	キャリアプランへの支援 業務改善とワークライフバランスの推進	○
3. 地域ニーズへの対応	地域医療従事者の受け入れ 委託検査の受け入れ センター機能の充実(がんゲノム、血液疾患・輸血)	△
4. 経営基盤の更なる強化	課題解決能力、経営的視点をもった技師の育成	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ① 「品質保証施設認証制度」認定維持 ○ (2024.6.1~2026.5.31)
日本臨床衛生検査技師会
11部門:臨床化学、免疫血清、微生物、微生物(POCT)、血液、細胞、一般、生理、輸血、病理、遺伝子
更新申請中
- ② ISO 15189 認定維持 ○
2022年版のQMSの安定運用、2026年6月の次回更新審査に向け準備中
- ③ 認定資格取得への支援 △
タスク・シフト/シェアに関する指定講習会 1名
有機溶剤作業主任者 3名
衛生工学衛生管理者 1名
細胞検査士 1名



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ④ 複数の業務スキルを持つ人材の育成 ○
複数分野の兼務、部門間連携の強化 研修中 8名
- ⑤ 時間外の削減 ○
36協定達成率:100%、遅番体制の見直し
- ⑥ がん診療センター業務の充実 ○
エキスパートパネル開催支援、契約支援
がんゲノム検査に対応できる技師の育成 研修中1名
- ⑦ 輸血細胞治療管理業務の充実 ○
患者・患者家族への垂型説明を開始
- ⑧ 検査関連収支の共有 ○
院内・院外検査の見直し、医療経済学、病院経営学の共有



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

臨床検査技師による他職種への研修

★初期研修医(1年目) ○

<採血研修>

2024年度まで 歯科1名受け入れ(4~5月 7:30~8:00 外来採血室)
医科は看護師による研修(4月 7:00~ 病棟)

2025年度 医科・歯科18名受け入れ(4月 8:15~8:50 外来採血室・病棟)
1日6名(外来採血室2名、病棟4名)
5日間(見学1日・実技4日)/人

★救急救命士 ○

2025年度新たに受け入れ開始
検査項目、採血管の種類、分注手順、注意点、検査の流れ等



来年度に向けた決意表明

- ・検査の質と安全の世界標準化を目指します
- ・DxとAI活用による業務の見える化と効率化を進めます
- ・OODAループを楽しみながら活用します



2025年度成果

リハビリテーション技術科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	全身管理、統合的な評価を包括的に解釈した上でのゴール設定と、リハビリテーションの提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	礼儀正しいこと 依頼の適正化や人員配置を変更し働き方を見直す	○
3. 地域ニーズへの対応	有本Dr.の地域構想のもと地域との連携強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	算定や加算の取り漏れと対応範囲を見直し算定点数の向上を目指す	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
算定単位数	15.8	17	15.3	×
総合実施計画書算定機会率	68%	80%	88.5%	○
がんリハ算定単位数	7680	8000	5920 年度推定 7104	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- 部門システムの更新
 - 致命的な問題はなく稼働した ○
- 効率的な単位取得ができるように対応する
 - 単位取得は伸びなかった ×
- PTの人員配置を調整変更 ○
- 月またぎ患者さんの計画書算定機会を向上し維持する
 - 80%以上を達成 ○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

診療報酬改定に対応しつつ利用者さんの
利益と病院経営に貢献する。



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
修理対応率	75%	80%	73%	×
機器委託点検費用(仮想)	650万	670万	676万	○
透析施行回数	17,525	17,700	17,275	×
スコープオペレーター介入率	30%	30%	30%	○
内視鏡 スコープ修理費用の削減	570万	670万	540万	○
EGD・CS・ESD介助	1,720	1,800	1,725	×
緊急検査対応	—	50	35	×
心臓デバイス遠隔モニタリング管理	187	200	225	○
心・血管カテーテル清潔介助	267	300	376	○
緊急カテーテル対応	20	50	54	○
アブレーション治療時3rd介入	56	65	52	×

2025年度成果

臨床工学科



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	タスクシフト・医師等業務負担軽減への実現 >内視鏡・カテーテル領域での緊急への対応 医療DX・デジタル化への対応 >医療機器・デバイス患者・内視鏡洗浄システムの一元化管理	△
2. 生き活きと働ける職場環境	専門性スキルの向上及び支援 >各種専門・認定の取得(不整脈、カテーテル、内視鏡、手術、滅菌)	○
3. 地域ニーズへの対応	在宅医療への対応 >指導内容の統一、ライセンス化 災害時透析支援体制の構築 >行政、透析施設間連携ネットワークの強化 市民向け広報イベントの開催 >市内施設での機器展示・職業紹介・SNSによる発信	△
4. 経営基盤の更なる強化	診療報酬の取得 >オンラインHDF患者の増加 >デバイス遠隔モニタリング未送信患者の削減	△



2025年度 重点目標達成に向けた取組み・成果



カテーテル・アブレーション治療での入退室、治療時間の短縮
 >症例前の清潔物品の準備
 >穿刺より、治療開始までの時間短縮
Total 約50時間程度の軽減



在宅機器の指導方法の統一化
 >高齢者でもわかりやすい指導方法(動画作成) ⇒ 実施に至れず
 >データのクラウド管理(QRコード化) ⇒ 進捗60%
動画配信、テスト実施、ライセンス化までに至れず



デバイス遠隔モニタリング未送信患者を減らし、収益向上
 >未送信患者対応フローの作成
 >デジタルデバイス(タブレット)を用いた患者指導の導入
昨年度平均10名以上よりは削減できたが、今年度8.2名で目標未達成



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ◆バスキュラーアクセスの管理
 - 新たなデバイスの運用 ⇒ 電子聴診器の導入には至れず
 - BV計の精度向上 ⇒ 1本あたり10円の値下げと血液回路の統一化
 - 穿刺部位の把握や狭窄部位の早期発見 ⇒ 超音波エコーを用いたシヤントの評価
- ◆タスクシフト/医師負担軽減
 - 麻酔補助業務の充実 ⇒ 挿管抜管の補助・Aライン 血ガス、フィブリノーゲン測定
 - 鏡視下内視鏡保持業務の展開 ⇒ 外科・泌尿器科
- ◆内視鏡関連の効果的な機器、器材類の管理
 - 洗浄度チェックの実施 ⇒ 消化器内視鏡技師会の結果待ち 今年度修理 18件 145万
 - 各処置具の滅菌前管理(潤滑剤塗布) ⇒ 使用時のトラブル軽減・アンケート調査検討
- ◆備品、器材類の適正管理
 - SPD、サプライセンターとの連携 ⇒ 共同購入品への切替、器材管理・洗浄
 - 在庫管理 ⇒ 備品類の定数化

来年度に向けた決意表明

「いのち」を支えるエンジニアとして
質の高い医療の実現に向けて

- 機器・器材類の安全管理・適正使用に徹する
- 医師の働き方改革の推進
- 診療報酬を確実に取得
- AIの活用

2025年度成果

栄養管理室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	既往歴にあわせた治療食の選択	○
2. 生き活きと働ける職場環境	有給取得の目標10日 キャリアアップに向けた資格取得への推進	○
3. 地域ニーズへの対応	栄養情報提供書を通して地域へ情報発信	○
4. 経営基盤の更なる強化	特別治療食の40%維持	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
特別治療食の割合	32.8%	40%	38.5%	△
化学療法室での栄養指導件数	660	720	595	×
栄養情報連携料	231	360	332	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 入院支援での栄養士の事前面談により、既往症を把握し、適切な食事を患者さんに提案することが出来ました。
これにより患者さんも食事療法の重要性の理解に繋がっている。
- 生き活きと働ける職場環境の充実を目指し、育児時短取得を希望するスタッフが取得する環境を整えています。スタッフの技術向上もあり、有休休暇取得も概ね達成することが出来ました。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 転院先へ栄養情報提供書を通し、食事・アレルギーなどんの情報を共有することにより当院での栄養管理の継続に繋げることが出来た。
4. 特別治療食を必要としている患者に入院日より提供できるよう、入院支援室での入院前面談を有効に活用出来た。



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

転院先へ当院での栄養管理、アレルギー情報などを共有することにより患者さんの状態にあわせた適切なケアを継続することが出来ています。



来年度に向けた決意表明

食事メニューの改善を図り、患者さんに満足度の高い食事、調理する側も疲弊しない献立を構築していきたい。



2025年度成果

臨床支援技術科 臨床支援士



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

医師承認後の診断書を、提出前に最終チェックし誤字脱字がないか確認を心がけた。

執務室に毎月の返戻件数を掲示し、返戻数削減の意識付けをした。



修正依頼件数は月平均10.1件と目標を僅かに上回ってしまったが、返戻率は目標達成することができた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
診断書修正依頼件数	月10件	月平均10.1件	△
返戻率	1.25%	1.15%	○

修正件数を減らすことで、文書受付での業務の削減、患者さんへ診断書をお渡しできる期間の短縮に繋がることが考えられます。

診断書作成件数は月によりばらつきがあるが、返戻率1.25%以下を目標に、修正依頼件数を減らしていきたい。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ・骨脆弱性ネットワーク レジストリ登録
- ・産科 NCD登録
- ・眼科 紹介状登録

上記登録作業を新たに開始しました。

滞りなく登録ができています。今後も引き続き誤りなく登録できるよう進めていきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

返戻率は目標達成出来たが、電子カルテの入れ替えに伴い、1月以降修正依頼が増加傾向にあるため、来年度も引き続き取り組みを続け、患者さんへ診断書をお渡しできる期間の短縮に繋げていきたいと思っております。



2025年度成果

臨床支援技術科 歯科衛生士



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
周術期口腔機能管理Ⅰ・Ⅱ件数	1000件	1100件	1337件	○
周術期口腔機能管理Ⅲ・Ⅳ件数	2000件	2200件	3787件	○
摂食機能療法介入件数	700件	800件	677件	×
口腔機能管理	300件	300件	258件	△
口腔細菌定量検査1	—	100件	386件	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	周術期等口腔機能管理の充実	○
2. 生き活きと働ける職場環境	人材確保 他の医療機関との人材交流	○
3. 地域ニーズへの対応	疾病重症化予防を目的とした口腔管理	○
4. 経営基盤の更なる強化	口腔細菌定量検査・咬合圧検査の導入	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 周術期口腔機能管理の充実
 - ・診療報酬改定で範囲拡大
 - 集中治療室対象拡大が件数増加に大きく寄与
 - 人工呼吸器関連肺炎予防への関与
- 人材確保
 - 欠員2名の状況の中、会計年度職員1名が10月に入職
 - 次年度以降の戦力に向けた基盤整理



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 他の医療機関との人材交流
 - ・静岡県病院歯科衛生士連絡協議会への参加
- 他院の介入体制や算定方法を共有
 - 自院体制の改善点を明確化
- 新人教育
 - 教育プログラム事例の共有
 - 段階的育成方法の情報収集
 - 指導體制の客観的評価
- 疾病重症化予防を目的とした口腔管理
 - ・集中治療室・感染症患者への対応
- 特別対応加算の算定対象となる症例に対し、適切な評価と介入体制を整備



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

新規検査の導入

・口腔細菌定量検査

実績386件で目標を大幅に上回る実施件数
検査の定着と現場活用が進んだ

・咬合圧検査

検査体制の早期確立
低栄養・フレイル予防への早期介入
摂食機能療法の質向上



来年度に向けた決意表明

重症化予防につながる
口腔管理をさらに充実させ、
全身の健康を支える
歯科医療を推進します。



2025年度成果

臨床支援技術科 臨床心理士



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取り組み・成果

小児・周産期

- 要支援児童対策連絡会体制の充実化、「気になるシート」運用 → 3.3件/月
- 周産期病棟・小児病棟スタッフ向け心理勉強会の実施 → 4/25、6/9に実施

がん・緩和ケア

- 「苦痛のスクリーニング」を活用し、適時に効果的な心理的ケアを提供 → ○
- グリーフケアに関する研修の継続、リーフレット配布 → 5-6月に希望者306名にパリスによる研修実施

認知症ケア

- 外来における認知機能検査体制の充実 → マニュアルの作成と運用実施者を3名に増員



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	小児・周産期 ・ 安心して出産・分娩・子育てができるよう取り組みの充実化、地域行政等と連携、院内スタッフの教育 ・ 障害種に応じた質の高い心理療法・心理教育の提供	○
	がん・緩和ケア ・ 良質で、有効性の高い心理的ケア提供体制の整備 ・ 院内外の医療者がグリーフケアを実施できる環境の整備、教育、啓発	○
3. 地域ニーズへの対応	認知症ケア ・ 重症化予防への貢献 → 認知機能検査および評価体制の充実	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取り組みに対する結果・成果

小児・周産期

- ✓ 「気になるシート」の活用、気になる家庭の早期発見・早期介入を啓発 → ○
- ✓ 死産ケースのカンファレンスや勉強会でグリーフケアに対する心理学的視点を提供 → ○

がん・緩和ケア

- ✓ 【苦痛のスクリーニング】陽性患者と臨床心理士の介入率の把握 → ○
- ✓ 【気持ちのつらさの相談希望】患者への介入率50%以上 → △ (陽性患者の31.3%)

認知症ケア

- ✓ 外来における認知機能検査マニュアルの作成、検査実施者の増員 → ○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明



2025年度成果

臨床支援技術科 視能訓練士



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	より正確な診断ができるようにする	○
2. 生き活きと働ける職場環境	働き方改革を推進し、希望休暇の取得を確実にする	○
3. 経営基盤の更なる強化	コスト請求を習慣つける	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
一般検査件数	3236件	3850件	5280件	○
特殊検査件数	1981件	2580件	3189件	○
硝子体注射件数	120件	135件	195件	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

①勉強会、症例説明など医師の積極的な視能訓練士教育のおかげで、1年間本当に多くの事を学びました。知ることによって患者さんへの説明など伝える技術は確実に上がりました。検査ポイントも事前にわかり、検査時間短縮になり、患者様の負担軽減になりました。

②スタッフの希望休は確実に取得できました。仕事がスムーズにできたときは時間休を活用し、はやめ帰宅も推奨しました。

③検査項目での担当交代時にWチェックをし、コスト漏れがないように取り組みました。意識の変化もあり、コストチェックは習慣化されています。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

眼科外来はずいぶん変わりました。

それは患者さんの数にあらわれていると思います。

緊急性がある症例・手術など幅広く対応可能になりました。

近隣病院の先生方から相談・依頼の直接入電も増え、眼科診療体制の見直しは紹介しやすい、患者様が受診しやすい環境整備ができた結果だと思っています。症例毎の検査項目、診察手順、書類・説明文、使用機器の購入・配置などの変更は待ち時間短縮につながっていると思います。問題抽出→検討を繰り返し、安心安全スムーズな受診のため、今なお進化している真っ最中です。



来年度に向けた決意表明

一変した眼科外来。これからも継続・発展できるよう

患者さん、眼科医にとって縁の下の力持ち的な存在になれるよう
うとにかく尽力いたします。

そして、みなさまの“みえる”環境をお守りしていきます。



2025年度成果

地域医療連携室



2025年度 数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実績	達成度
月平均紹介件数	1070	1100	1097	○
月平均逆紹介件数	1330	1300	1273	○
関係機関の訪問件数	308	300	261	×
医師との訪問件数	42	45	23	×



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
経営基盤の 更なる強化	①紹介患者の受入れ体制を整え、集患につなげる ・女性骨盤機能センターへの新規患者増加 ②医師の同行訪問による連携強化を図り、集患に繋げる ③空床状況等に応じた下り搬送の運用	△
地域ニーズへの 対応	①より多くの地域住民に情報発信を行う ②新たに協定締結をした連携機関との協議を行い、 当院の役割を果たす	○
活き活きと働ける 職場環境	業務進捗を共有し、計画的に進めることにより 年休取得をしやすい環境をつくる	×



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

経営基盤の更なる強化

- ①紹介患者の受入れ体制を整え、集患につなげる
予約や問い合わせ対応の遅れ、文書発送の遅延等が生じ、
需要の高い磐田市の紹介が減少
- ②医師の同行訪問による連携強化を図り、集患に繋げる
目標数値に到達できなかったが、眼科の紹介件数が増加
- ③空床状況等に応じた下り搬送の運用
昨年度から協議開始、12月下旬に開始
空床状況に応じて入退院管理室が搬送の可否を判断



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

地域ニーズへの対応

- ①より多くの地域住民に情報発信を行う
 - ・市民公開講座 今年3回開催 →達成
 - ・出前講座 →達成
 - ・病院長の地域医療セミナー →達成 5回開催
- ②連携機関との協議をもち、当院の役割を果たす
 - ・介護施設等との連絡会を開催し、協議を行う →達成
 - ・在宅医療連携勉強会の開催 →達成 3月26日開催予定



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

女性骨盤機能センターに関すること

- ・紹介患者をスムーズに受け入れる予約システム →達成
- ・「診療のご案内」に掲載 →達成 新設ページでPR
- ・市民公開講座の開催 →達成
- ・患者さんの症状相談窓口の開設 →達成
- ・リーフレットの作成 →大幅な遅れ・・・未達成
- ・ポスターの作成 →未着手

女性骨盤機能センターへの紹介や問い合わせがあり、需要が高い分野であると実感している。
紹介患者だけでなく、電話で相談をいただいた方の受診が可能となった。



来年度に向けた決意表明

システムや状況に合わせ、
コスト意識を高め、
業務を見直しスリム化をはかる



2025年度成果

入退院管理室



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
入院支援	10診療科	15診療科	32診療科	○
入院時支援加算1	214件	1050件	1240件	○
入院時支援加算2	796件	144件	69件	○
		計1194件	計1309件	
施設等への訪問	12施設	25施設	42施設	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	入院前から退院支援を開始することでシームレスな入退院支援を提供する 患者・家族の意向に沿った退院支援・退院調整の実施 多職種と協働した支援の充実	○
2. 生き活きと働ける職場環境	休暇がとりやすく、残業時間削減が可能な体制作り	△
3. 地域ニーズへの対応	後方医療機関、在宅ケア関係者との連携強化 顔が見える関係の強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	効果的・効率的な病床管理 入退院支援加算に関わる算定数の増加	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

◎休暇がとりやすく、残業時間削減が可能な体制作り

学校行事が重複するとスタッフ間で譲り合い皆が平等に休暇が取れない
→1週間単位で業務調整を行い、退院調整カンファ日程の調整等柔軟に対応
年休取得数の個人平均を毎月集計し、取得数が少ない人も部署平均取得を目指す
年休取得平均 10.44日/人(2026年1月時点)
外部からの連絡が多く1時間の休暇が確保出来ない(主に外来支援Ns2名)
→休憩開始時間を早め、外部の休憩時間とずらす
応援体制を強化し、依頼できる業務内容の調整を開始

◎後方医療機関、在宅ケア関係者との連携強化、顔が見える関係の強化

・訪問スケジュールを作成し、年度初旬・中旬に近隣施設・包括支援センター等へ
連携をとる頻度の高い担当PFM・社会福祉士が訪問場所を調整し**42箇所へ訪問**ができた
・ケアマネジャー交流会を開催 コロナ禍を経て数年ぶりの開催
市内で活動される**ケアマネジャー52名が参加**



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

◎効果的・効率的な病床管理

病床管理 DPC II 期を意識した病床調整

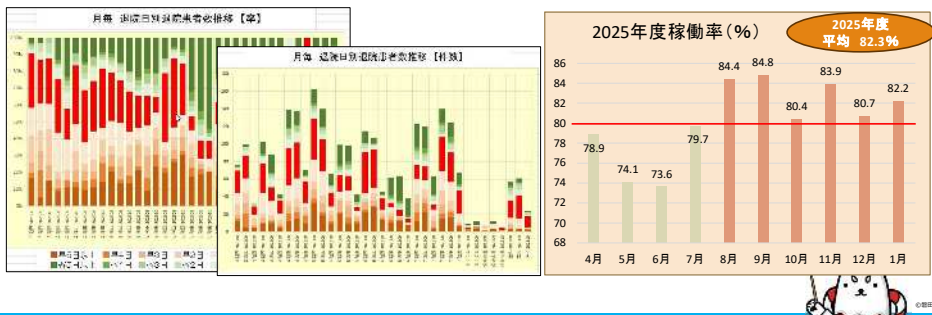
→経営企画課が作成した長期入院患者の動向を抽出するツールをアレンジ

上期

DPC II 期末尾がリスト化できるツールを作成し、病床稼働率安定化をはかる取組み

下期

電子カルテの変更に伴い、病床利用患者の動向(入退院)が日毎でわかるタブを現在作成中



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

◎入院前から退院支援を開始することでシームレスな入退院支援を提供

入院支援を拡大

対象:産科・小児科以外の診療科 予定入院

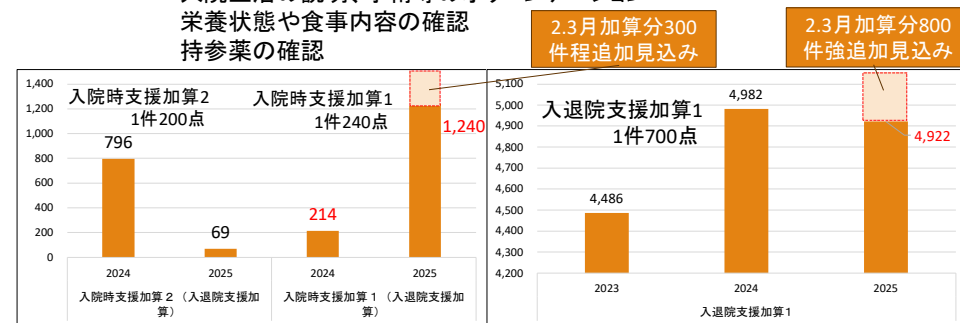
多職種(薬剤師・栄養士・事務・看護師・社会福祉士)による主な支援内容

入院書類のお預かり

入院生活の説明、手術等のオリエンテーション

栄養状態や食事内容の確認

持参薬の確認



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

- 病床稼働率83%以上維持！
- 院内多職種の協働による
入退院支援の質向上！
- 地域との連携強化！

磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

医療・福祉相談室



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
患者相談室連絡会の定期開催と成果報告の実施	3施設以上 年2回開催	年2回開催 発表1回	9月・2月の2回実施。2月には中東遠・森町に加え、御前崎・菊川の参加を促し中東遠地域公立病院が集合した形での開催ができた。	△
入院支援業務拡大への業務協力	—	入院支援に関わる手引きの完成	カルテ更新により既存のシステムを活用することで簡易に連携することが可能となった。	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	医療メディエーション活用のための継続教育の実施 地域と協働しての取組み、研修会への参加 患者アンケート回答内容の検討	○
2. 生き活きと働ける職場環境	公正な年休取得と時間外の短縮	△～○
3. 地域ニーズへの対応	地域施設の相談室との連携強化を図り、日々の業務へ反映させる	○
4. 経営基盤の更なる強化	入院支援業務拡大への専門性を活かした業務協力	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

入院支援業務拡大へ専門性を活かした業務協力

MSW(医療ソーシャルワーカー)の専門性とは、

患者やその家族が抱える様々な問題について相談援助を行い、安心して治療に専念し、問題を解決するために調整や援助を行う

➡ 情報を捉えMSWが早期に介入出来れば・・・

- ・安心して入院が出来る
- ・適切な退院支援につながる
- ・必要なサービス利用
- ・地域・行政との連携強化
- ・早期に情報をキャッチし対応することで未収金防止対策



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

・入院支援部門に専従のMSW1名配置の効果

MSWの視点を持ち患者に関わることで、事前にMSW介入が必要と判断することができる。配置スタッフが自ら入院支援室で行える支援を行うとともに、難渋事例、困難事例については、入院前に医療・福祉相談室MSW介入につなげている。

入院支援業務拡大1月から2月までの
入院前介入数(カルテ更新後)

26例



来年度に向けた決意表明

- ・メディエーションスキルによる各部門、部署での患者対応能力の向上
- ・患者相談室連携会議の成果報告
- ・身寄りのない、親族との関係が希薄な方に対する対応を地域で支援できる体制の構築
- ・障害者支援の検討



2025年度成果

病院総務課



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ◆危機管理体制の見直し
机上訓練・防災訓練を通して見直しを実施
- ◆文書管理ルールの策定
リンクライブラリの文書管理のルールは策定
- ◆施設整備の計画的な実施
内視鏡センターは院内調整しながら運用・工程管理
厨房改修の仕様書作成は来年度以降に先送り
施設全体の修繕計画の見直しは実施



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	危機管理体制の見直し	○
1. 質の高い医療の実現	文書管理ルールの策定	×
1. 質の高い医療の実現	施設整備の計画的な実施	△
2. 生き活きと働ける職場環境	年末調整事務の効率化	○
4. 経営基盤の更なる強化	コストを抑えた白衣の更新	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ◆年末調整事務の効率化
システムを導入し、令和7年度の年末調整を実施
- ◆コストを抑えた白衣の更新
9月に競争入札を実施、2月2日白衣更新



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

職員に**信頼**され、
職員が期待する**成果**が出せる
病院総務課を目指します！



2025年度成果

医事課



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	内視鏡センターのスムーズな移転	△
2. 生き活きと働ける職場環境	年休10日/1人取得しワークライフバランスを整える	○
3. 地域ニーズへの対応	病院救急車を活用した下り搬送の実施	○
4. 経営基盤の更なる強化	新規未収金の削減(フローに基づいた債権整理) 室料差額と自費診療の見直し 救急外来預かり金の実施	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
新規未収金の削減(千円) 「自賠、保険会社一括」含めず	24,013 (12月末)	14,241 (12月末)	16,432 (12月末)	×
マイナ保険証利用率の 更なる拡大(%)	46 (最高値)	45 (平均値) 追加70 (最高値)	60 (平均値) 79 (最高値)	○
再審査請求点数	1,013,921	1,500,000	2,379,014	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

◆電話催告・来院時相談・臨戸訪問の強化

取組項目	実施件数
電話催告	216件
来院時相談	108件
臨戸訪問	50件

この他にも、

- ①督促前に行なう「優しい電話催告」を実施
- ②自賠連絡待ち案件の確認を実施
- ③通訳と頻繁に打ち合わせをし来院時の状況確認を随時実施

未収金整理状況を見える化して収益向上対策会議に報告することとした



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

◆再審査請求復活点数の増加



1月末の時点で
令和6年度より535,233点増加

金額にして500万円以上を見込む



来年度に向けた決意表明

職員1人1人が、目標の達成に向けて、やり甲斐を持って取組み、その成果を実感できる1年にする

【重点項目】

- ・診療報酬改定を基に収益向上の取組みを積極的に行なう
- ・ITを活用した患者サービスの向上
- ・未収金の削減のための地道な活動を継続する
- ・未収金発生率の削減に向けた新たな対策を行なう



2025年度成果

経営企画課



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
経常収支比率 (経営強化プラン)	90.2%	98.3%	92.5%	×
一新規入院患者数	1081人	1,150人	1,145人	△
一医業収益 (経営強化プラン)	18,315,663千円	19,664,000千円	19,590,684千円	×
一診療材料(汎用品)の 共同購入品採択率	54.84%	60.00%	67.47% 11月末時点	○

経営強化プランの収支計画実行に向けて取り組みました。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
	第4次中期計画(2026-2030)の策定	○
2. 生き活きと働ける職場環境	医療情報システム更新	○
4. 経営基盤の更なる強化	収入増加と経費削減への取組の推進	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

■ 第4次中期計画(2026-2030)の策定

8月 幹部及び外部機関(行政等)ヒアリング、医師会等へアンケート実施

11月 診療科・部門ヒアリング

1月 中期計画委員会・協議会

2月 中期計画委員会・協議会

1~2月 パブリックコメント募集

3月 完成予定

■ 医療情報システム更新

4月 導入WG開始

10月 操作研修

12月 リハーサル実施

1月 本稼働



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

■ 収入増加と経費削減への取組の推進

【収入増加】

6月に診療科をまわり、経営改善の協力を依頼

- ①新入院患者の確保
- ②DPC期間Ⅱびたりを目指し、
病床稼働率を向上

(平均)	4~6月	7~12月	
新入院患者数	1,067	1,171	↑
病床稼働率	75.5	82.3	↑

【経費削減】

5Sテーマをコスト削減としペーパーレス等浸透

→消耗品費対前年比492万円(9.2%)減 ※12月時点



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

■ 第4次中期計画(2026-2030)の策定

- ・病床数適正化検討WGにおいて今後の方向性を検討
→収支の改善に向けて、第4次の計画期間は500床を維持して患者を受け入れ、収益を確保していく必要がある。
一方で、病床数適正化による削減は年単位での準備が必要なため、2030年以降の適正化に向けて検討を継続し、必要に応じた準備を進める。

■ 経費削減の新たな取組み

- ・在庫管理WG推進
2回WGを実施。不動在庫や期限切れ、逆輸品を見直し
- ・医療機器共同購入品採用
点滴棒等を採用
- ・医療機器中古販売活用
検討段階



来年度に向けた決意表明

経営企画課は、「**縁の下の力持ち**」

として病院経営に貢献したいと考えています。

私たち、経営企画課のお客様は、「**患者さんや地域の関係者に加えて、病院の職員の皆様全員**」です。

「**明るく楽しく、そしてスピーディーに**」

をモットーに、何事にも真摯に対応しますので何でもご相談

ください。今後とも、どうぞよろしく申し上げます。

